Recycling Company ALT

2023 環境報告書

株式会社アルト

Amenity Life Together

目　　次

１．はじめに　1

　１－１　緒　言　1

　１－２　対象期間及び対象組織　2

２．事業の概況　4

　２－１　環境管理組織　4

　２－２　事業内容　4

３．事業活動における環境配慮の方針等　7

４．事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画及び実績等の総括の概要　9

　４－１　産業廃棄物再資源化の推進　9

　４－２　環境負荷の低減　12

　４－３　環境・適正処理に関する情報提供　16

　４－４　社会貢献・CSR　17

５．環境マネジメントシステムの状況　20

６．環境に関する規制の順守状況　21

７．資源・エネルギーの使用の状況　22

８．環境負荷の低減に資する製品等の状況　24

1．はじめに

1－1　緒　言

「コロナとの共生」

今回、コロナの経験から激しく変化した社会。決してコロナは消えることはなく、「コロナとの共生」が必要不可欠である。

当社では、先の時代(100 年企業)を見据えた企業を目指し、どのような状況下におかれても創業以来の「経営理念」である、「環境の美化とリサイクルを通じて気持ちの良い街づくりに貢献する」を基にぶれることなく果敢に挑戦し続ける組織であるための活動を進めて参ります。

引き続きのご愛顧の程何卒宜しくお願い申し上げます。

この環境報告書の作成・公表は、環境への取組に対する社会的説明責任を果たすことを目的としています。同時に皆様のご意見、ご指導をいただくことが、「株式会社アルト」の環境への取組の改善と社会からの信頼を勝ち得ていくことに大いに役立つと考えます。

2023 年６月
環境管理統括責任者
代表取締役　坂下　明義

１－２　対象期間及び対象組織

この環境報告書は、2022 年度の「株式会社アルト」における一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理及び再資源化事業、建設・解体工事及びこれらに付随するすべての業務の環境に関わる活動について取りまとめたものです。

社　名：株式会社アルト

代表者：代表取締役　　坂下　明義

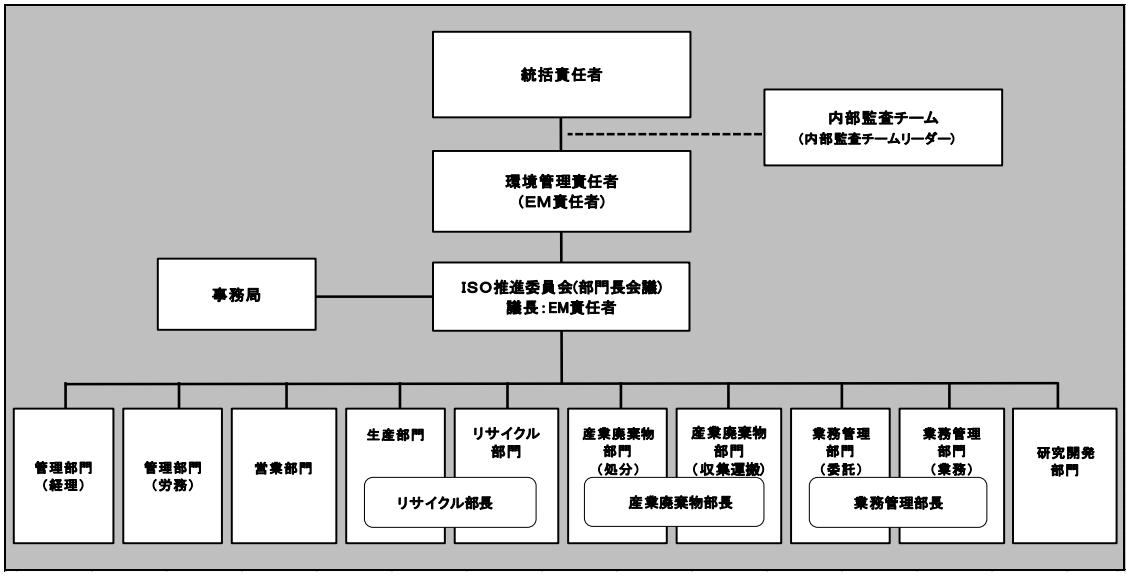
所在地：本社事業所　　富山市水橋市田袋 280
　　針原営業所　　富山市針原中町 491-1

沿革　　1985 年　　創業
　　1987 年　２月２日法人設立
　　1992 年　２月　富山県産業廃棄物収集運搬業許可取得
　　1996 年　９月　富山市産業廃棄物処分業許可取得
　　1997 年　２月　株式会社アルトに名称変更
　　2003 年　１月　ISO14001 認証取得
　　2004 年 10 月　新社屋,リサイクルプラント A 棟,B 棟稼働
　　2008 年　８月　富山県知事建設業許可取得
　　2009 年　２月　リサイクルプラント C 棟稼働

2011 年　３月　廃食用油の BDF 化事業を開始
2012 年　４月　研究開発室を新設
2013 年　７月　グリセリン洗剤 EXALT（エクザルト）製造装置を新設
2015 年 12 月　ISO14001 認証に解体工事部門を追加
2016 年　４月　リサイクルプラント B 棟の飲料容器リサイクル施設を更新
2016 年　６月　健康企業宣言
2016 年１２月　ＩＳＯ１４００１／２０１５年版への移行　認証を取得。
2017 年　２月　ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業　開始。
2017 年　３月　とやま障害者フレンドリー企業　認証を取得。
2017 年　９月　健康企業宣言 Step1 認定
2017 年 10 月　蛍光ランプリサイクルプラントが操業開始
2018 年　２月　長野県産業廃棄物収集運搬業　許可取得
2018 年　４月　千葉県産業廃棄物収集運搬業　許可取得
2019 年　３月　健康企業宣言 Step２認定
2019 年　３月　組織変更により、環境本部を新設
2019 年　４月　リサイクルプラント B 棟を増築
2020 年　１月　ペットボトル破砕機を更新
2020 年　２月　ホームページをリニューアル
2020 年 11 月　イクボス企業同盟とやま加盟
2020 年 11 月　元気とやま!　子育て応援企業登録
2021 年　１月　富山市 SDGs サポーター登録
2021 年　３月　「健康経営優良法人 2021 ブライト 500」を認定取得
2021 年　９月　「富山県 SDGs 宣言」に SDGｓへの取組を宣言
2022 年　３月　針原営業所の飲料容器リサイクル施設を更新
2022 年　３月　「健康経営優良法人 2022 ブライト 500」を認定取得

2．事業の概況

2－1　環境管理組織



環境目標が設定されている業務に限らず、その他の業務についても目標を設定し、すべての事業プロセスに環境マネジメントシステムを適用した運用を進めています。

2－2　事業内容

①産業廃棄物収集運搬業

富山県
富山市（積替保管）
石川県
福井県
岐阜県
新潟県
長野県
千葉県

の各県市で**産業廃棄物収集運搬業**の許可を受け、収集運搬を行っています。

また、上記の全ての各県市で「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。

②特別管理産業廃棄物収集運搬業

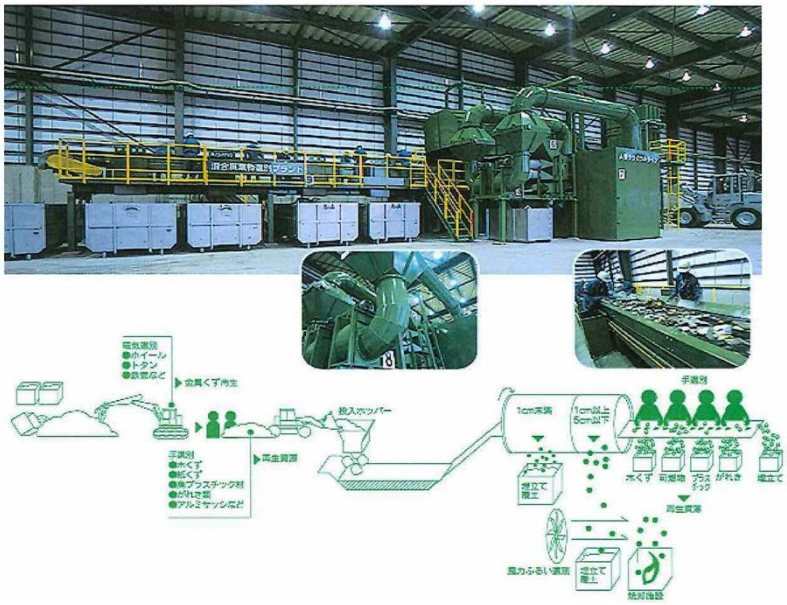
富山県全域の病院などの医療機関から排出される感染性廃棄物を収集し、焼却施設へと運搬しています。

特別管理産業廃棄物収集運搬業でも、富山県より「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。

③産業廃棄物処分業（中間処理）

収集した産業廃棄物を選別、破砕などの処理により資源化しています。

また、処分業でも、富山市より「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。



④一般廃棄物収集運搬業

a.市町村委託事業

富山市、舟橋村からの委託により、ごみステーションから、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源物」などの家庭ごみを収集しています。

b.事業系一般廃棄物収集運搬業

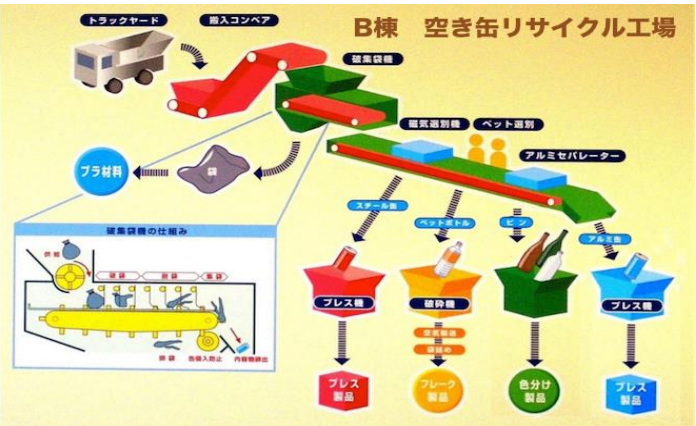
富山市　舟橋村　立山町　上市町
滑川市　射水市　砺波市　南砺市

の県内８市町村で一般廃棄物収集運搬業許可により、事業系一般廃棄物の収集運搬を行っています。

⑤資源リサイクル事業

空き缶、ペットボトル、ダンボールなどの資源物を工場・事業場から回収し、再資源化しています。

自治振興会や町内会と契約し、空き缶などの資源物を回収しています。その収益は地域の活動に役立っています。



⑥建設・解体工事業

建築物の解体から建設工事、それに伴う建設廃棄物の処理まで一貫して行います。

3．事業活動における環境配慮の方針等

≪環境理念≫

株式会社アルトは、一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬と産業廃棄物中間処理及び建設・解体工事を通じて地球環境問題に携わる企業であることを認識し、現在までに培った「知識･技術･経験」を活かした事業活動を行います。

また、これらの活動の次世代への継承とその責任に対する取り組みは、資源のリサイクル化を通し、顧客、社会に認められるリサイクル産業を実現し、循環型社会の形成に貢献するとともに SDGｓ（国連が掲げる「持続可能な開発目標」）の達成にも貢献します。

≪環境方針≫

1．　当社の活動に関わる環境側面を常に認識し、環境保全に努めます。

2．　環境方針、環境目標を定め、SDGｓとの関係を明らかにし、これらを定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

3．　当社に関わる環境関連法規、条例、規制等を順守します。

4．以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

① 法的要求事項及びその他要求事項の順守

事業活動に伴う法的要求事項及びその他要求事項を順守し、自主的な管理基準を設定し、更なる環境保全と廃棄物の適正処理に努めます。

② 廃棄物適正処理の具体策

廃棄物の適正処理は、地域環境問題に重要な課題である事を認識し、組織活動を通じて環境負荷の軽減を重視し、選別業務を的確に行う事により廃棄物の削減と有効活用に努めます。

③ 環境保全管理の実施

事業活動において環境目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。洗車時における水質汚染等の予防、排出積込時及び建設・解体工事の騒音・振動・粉じん発生の抑止、燃料、電力などのエネルギーの削減に努めます。

④ 環境意識の育成

環境分野の専門業として、全従業員一人一人がその課せられた責務を理解し、「環境方針」を教育・訓練により全従業員に周知し環境保全の意識を育成し、また全従業員への環境教育の実施により環境マネジメントシステムの維持向上を図ります。

⑤ 排出事業者との共生

排出事業者に向けて環境保全の目的、廃棄物の分別等に関して的確な情報を提供し、排出事業者と共生できる環境活動を行います。

⑥ 奉仕活動の実施

企業活動の一環として地域の美化運動企業活動の一環として地域の美化運動や社会福祉に努め、奉仕活動を通じて地域社会に貢献します。

⑦ 健康経営の取組

従業員への健康施策を積極的に行い、先進的な取り組みとして地域全体の健康づくりに貢献し、すべての人が健康でいきいきと働き続けることができる社会を目指します。また、奉仕活動を通じて地域社会に貢献します。

5．環境方針を徹底する為にホームページ上に掲示し、利害関係者からの要求があればこの方針の配布版を提供します。

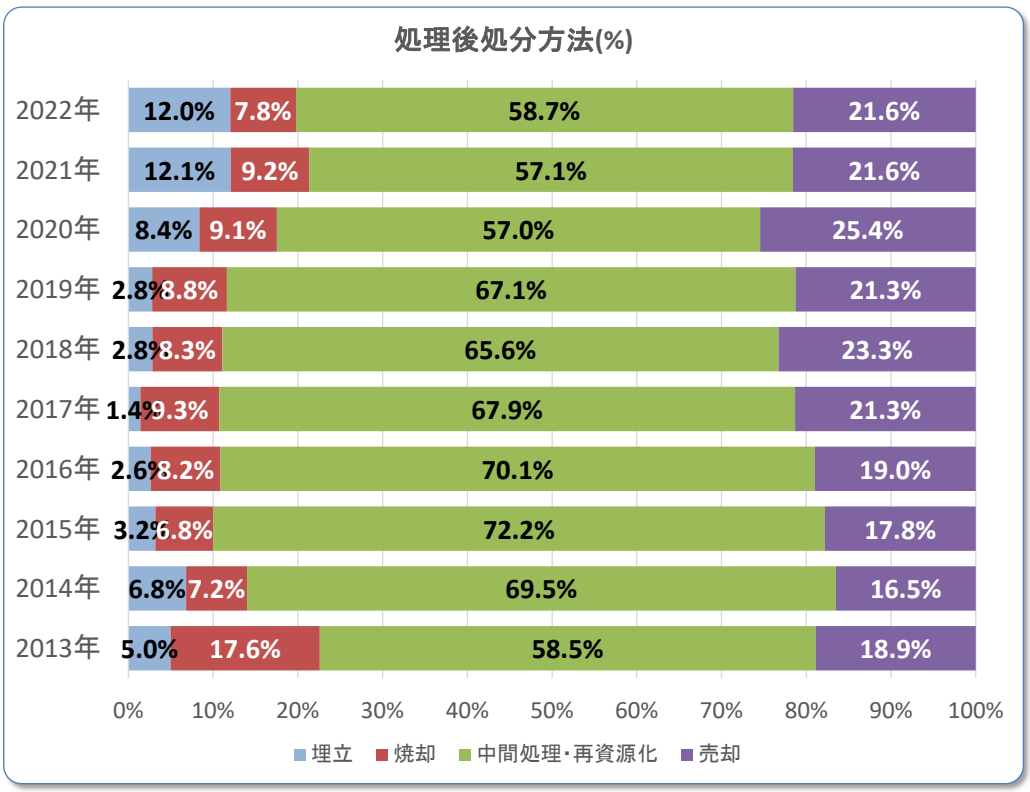
4．事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画及び実績等の総括の概要

4－1　産業廃棄物の再資源化推進

①　埋立処分量、焼却処理量の削減

2022 年度におけるアルトに搬入された産業廃棄物の処理後処分方法の割合は、埋立処分率 12.0%で横ばい。焼却処理率は、7.8%と 2021 年度よりやや減少しました。

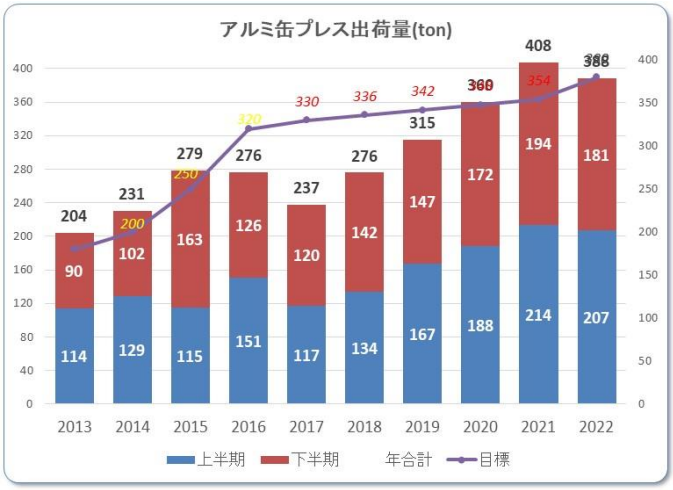
中間処理・再資源化率は、58.7%、有価物売却率は、21.6%で、これらを合わせると 80.3%が資源として生まれ変わっています。



② 飲料容器の資源化

a.アルミ缶

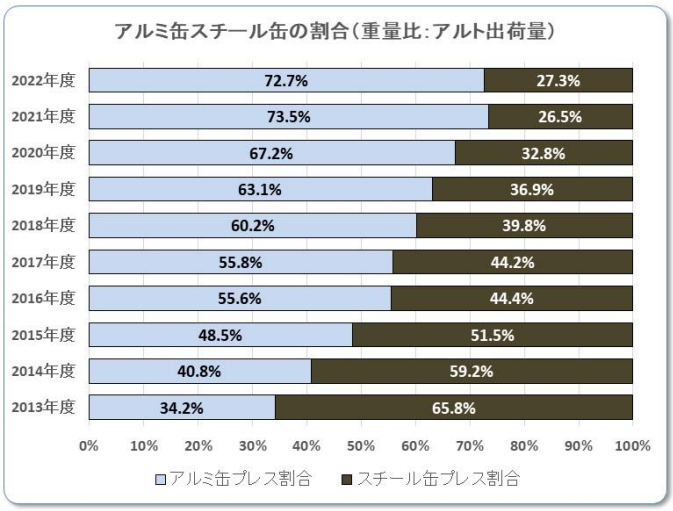
飲料缶におけるアルミ缶の割合は年々大きくなっており、アルミ缶プレスの生産量は増加傾向にあります。2022 年度は、前年度比約 5%の減少となりましたが、今後も増加傾向は続くと予想されます。



b.スチール缶

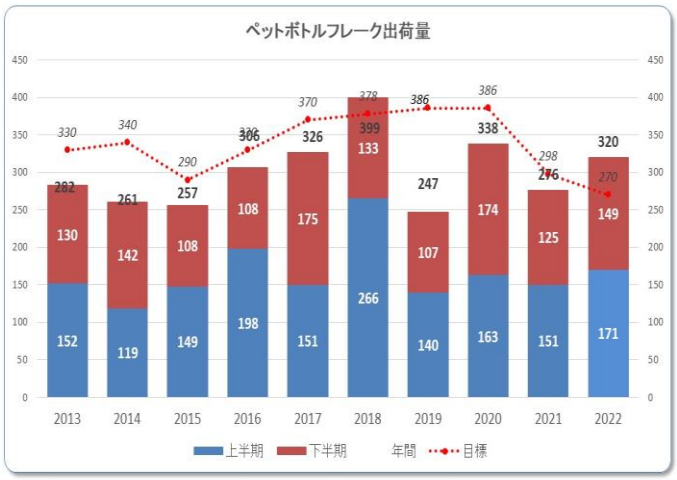
近年、スチール缶は、軽量化とペットボトルへの移行により、空き缶全体にに占める割合が縮小傾向にあります。

2022 年度のスチール缶プレスの割合は２７．３%となっており、生産量も、2014 年度以降減少傾向となっています。



c.ペットボトル

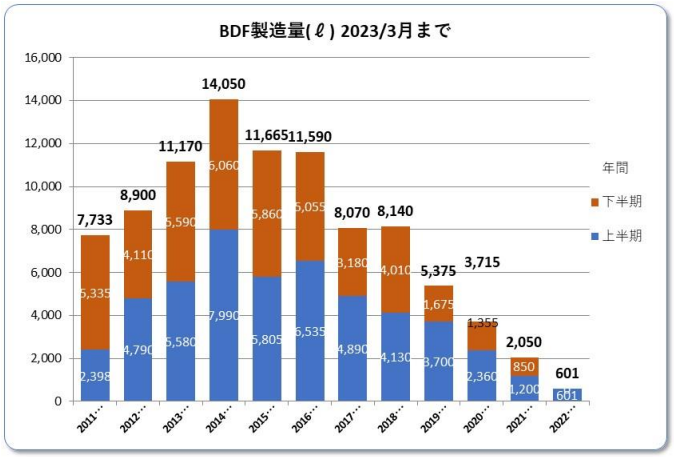
ペットボトルフレークは２０１８年度をピークに需要が伸び悩んでいますが、2022 年度の出荷量は前年度比１６%増加と持ち直しました。



③ 廃食用油の BDF（バイオディーゼル燃料）化

BDF 化量は、2011 年度から 2014 年度まで、年々増加していていましたが、2015 年度からは、BDF 専用車の減車により減少傾向となっています。2022 年度は、設備の稼働時間が短く、製造量はさらに減少しました。

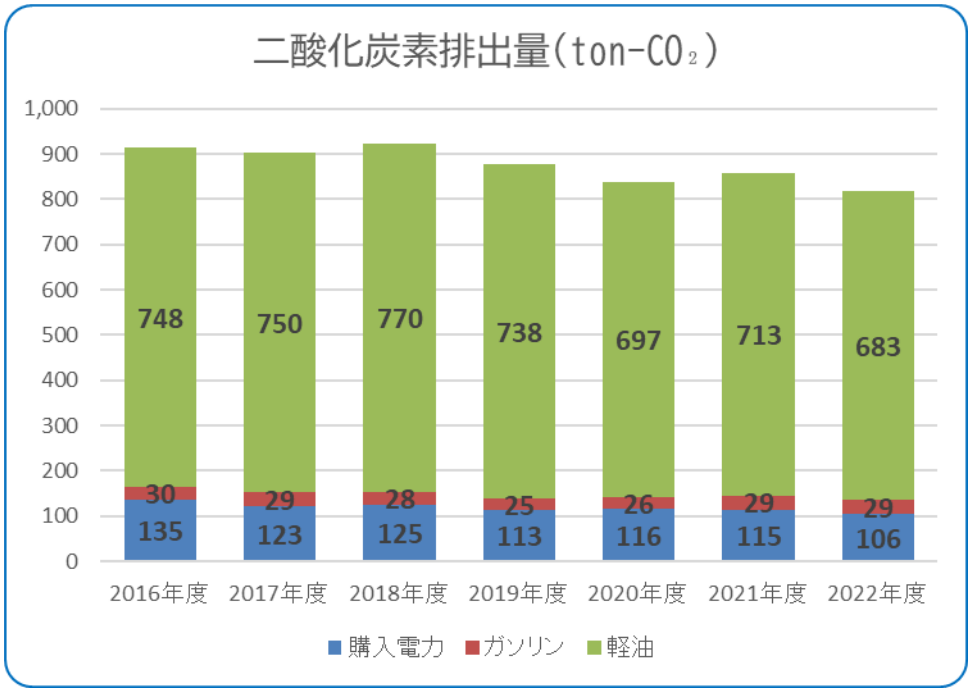
今後は、フォークリフト等の構内車両への BDF 使用を推進します。



4－2　環境負荷の低減

① 温室効果ガス排出量

2022 年度の温室効果ガス排出量（二酸化炭素）は、電気、軽油の使用量が減少したことにより，2021 年度に比べ約 4.5%減少しました。



年度	エネルギー消費		消費量	排出量 (kg-co_2)	割合
2016 年度	購入電力(kwh)		216,906	135,349	14.8%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	12,917	29,989	3.3%
		軽油　　(ℓ)	285,111	748,217	81.9%
	計			913,555	
2017 年度	購入電力(kwh)		197,346	123,144	13.7%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	12,571	29,186	3.2%
		軽油　　(ℓ)	285,730	749,855	83.1%
	計			902,185	
2018 年度	購入電力(kwh)		200,004	124,802	13.5%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	12,255	28,452	3.1%
		軽油　　(ℓ)	293,595	770,493	83.4%
	計			923,747	
2019 年度	購入電力(kwh)(※)		180,918	112,893	12.9%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	9,982	25,278	2.9%
		軽油　　(ℓ)	279,316	738,013	84.2%
	計			876,184	
2020 年度	購入電力(kwh)(※)		186,482	116,365	13.9%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	11,345	26,339	3.1%
		軽油　　(ℓ)	265,487	696,728	83.0%
	計			839,432	
2021 年度	購入電力(kwh)(※)		185,114	115,511	13.5%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	12,526	29,072	3.4%
		軽油　　(ℓ)	271,552	712,552	83.1%
	計			857,135	
2022 年度	購入電力(kwh)(※)		170,235	106,227	13.0%
	化石燃料	ガソリン(ℓ)	12,840	29,789	3.6%
		軽油　　(ℓ)	260,245	682,883	83.4%
	計			818,899	

(※)排出係数：北陸電力 0.624Kg-CO2/kwh で計算

② 低排出ガス車・低燃費車導入による大気汚染の防止

低排出ガス車・低燃費車については、毎年度導入を進め、2022 年 10 月では低排出ガス車適合が、79.7%となりました。

低燃費車の導入状況については 42.4%となっています。

今年度新たに策定した 2025 年度末までの長期目標では、低排出ガス車は 85%、低燃費車は 45%の目標を設定しています。今後もさらに基準適合車の比率を高めていきます。

③ 解体工事の騒音･振動防止

特定建設作業の場合、敷地境界線において、騒音は 85dB、振動は震度 2（75dB 相当）を超えないことを目標として作業を行ってきました。

住宅地などで敷地境界線と作業場所が近い場合は、できる限り低騒音低振動型工法の採用や作業時間帯を検討し、事前説明を充分に行い、近隣の生活環境に著しい悪影響を与えず、苦情の申し立てがないよう努めています。

④ 水質汚濁の防止

本社事業所、洗車場の美化及び排水処理施設を新設し、排水管理の徹底に努めました。

また、水質自主基準を設定し、管理しています。

⑤ 事故による環境汚染の予防

交通事故やプラント内での事故により環境が汚染されるリスクを低減するため、事故傷病については、軽微なものを含め、原因を明らかにし、再発防止を図っています。

また、全社員が参加する安全対策の教育・訓練をはじめ、各部門の業務特性や使用車両、使用機械などに応じたリスクアセスメントや部門教育に取り組んでいます。

事故等の発生件数は、長期的には、減少傾向にあります。2022年度は軽微な事故が大半を占めたものの、件数としては昨年度に比べ大幅に増加してしまいました。引き続き発生件数の削減に取り組んでまいります。

４－３　環境・適正処理に関する情報提供

①優良産廃業者の情報公開

優良産廃業者の認定条件では、情報公開の定期的更新が求められており、産廃情報ネットでの内容更新をおこなっています。

併せて「活かそう資源プロジェクト」や「優良さんぱいナビ」に情報公開し、より幅広い皆様への情報提供に努めています。

②ホームページの活用

ホームページは、市内をはじめ県内外からの多くの人に閲覧していただいています。

ホームページからお問い合わせいただいた中には、契約に結び付いたものも多くあり、廃棄物処理業者を選考する際に、インターネットを活用する排出事業者が増えていることがうかがえ、さらに情報提供の内容を充実していきます。

https://alt-mizuhashi.com

４－４　社会貢献・CSR

① プラント見学会を通じての社会貢献

排出事業者の処理施設確認や小学生の環境学習など、例年多くの見学者が来社されます。２０２０年度以降、コロナ禍のため実施が難しく、現在も一般の見学は再開できていませんが、今後リモートでの対応なども行い、見学者の年齢・ニーズに合った内容が提供できるよう工夫を重ねてまいります。

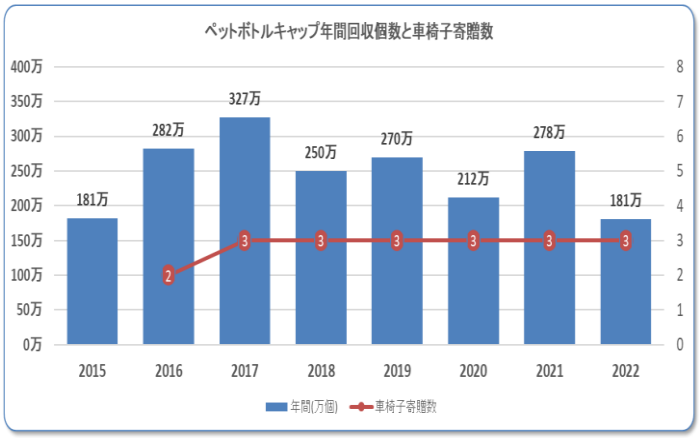
② 奉仕活動

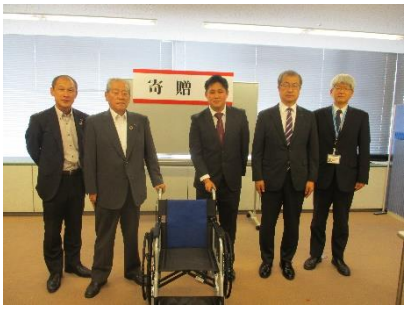
善意銀行への募金活動や、毎年５月 30 日のごみゼロの日の美化清掃活動などを行っています。

③ ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業

ペットボトルキャップ回収事業を、より積極的に取組み、ご協力いただいている地域の皆さまの善意を、より確実に必要とされている方々に直接お届けするため、「株式会社アルト」独自の活動として 2016 年度より「ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業」を実施しています。

今年度は第 7 回目の福祉用具支援として、2023 年６月、富山県社会福祉協議会と立山町社会福祉協議会には自走型の、舟橋村社会福祉協議会には介助型の車椅子を各１台寄贈しました。





富山県社会福祉協議会

立山町社会福祉協議会

舟橋村社会福祉協議会

④ 自治振興会等が行う資源回収への協力

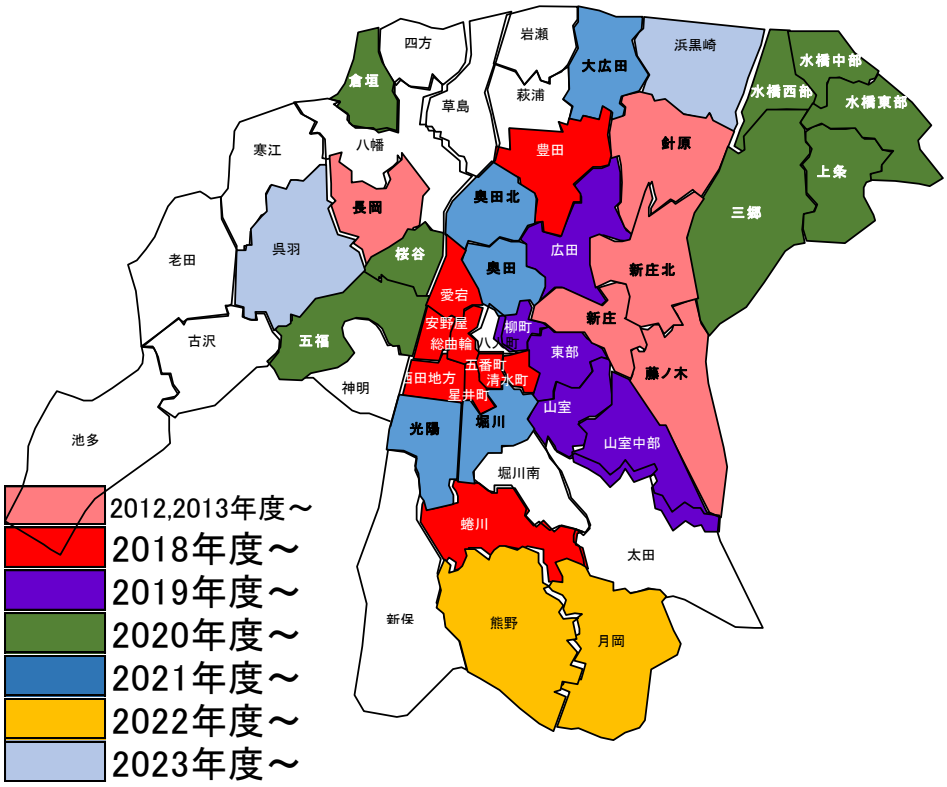
富山市内の自治振興会や町内会の実施団体と契約し、空き缶回収をしています。

2022 年度は、34 自治振興会より 385,780kg を回収しました。

収益は、実施団体に還元され地域の活動資金となっています。

2023 年度は、新たに 2 自治振興会が加わり、計 36 の自治振興会で空き缶回収が実施されています。

空き缶回収実施自治振興会



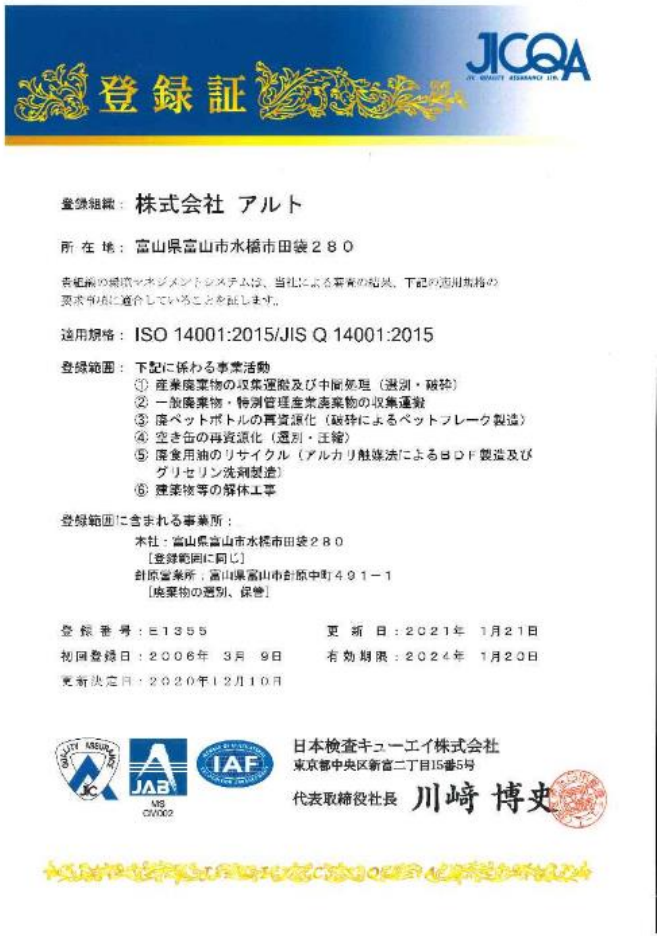
5．環境マネジメントシステムの状況

株式会社アルトにおける環境マネジメントシステムは、2003 年 1 月に ISO14001 の認証を取得してから 20 年余りが経過し、この間、本社移転、リサイクルプラントの増設及び工事部門の追加登録等の様々な課題に取組んで来ました。

これらの課題に対して、環境マネジメントシステムを引き続き、適切、妥当かつ有効に運用してきた結果として、廃棄物処理業の大きなリスクである環境汚染や大事故の発生を未然に防止することができました。

また、リサイクル推進により循環型社会の形成に貢献し、奉仕活動、プラント公開、環境教育にも積極的に取り組んだことにより、社会的にも評価されるようになりました。

2023 年度は、これまで５年ごとに設定していた「長期環境目標」から３年ごとの「中期環境目標」に変更し、より実態に即した目標値の策定を図りました。



登録証

JICQA

登録組織：株式会社 アルト

所 在 地：富山県富山市水橋市田袋２８０

表題の組織マネジメントシステムは、当社による審査の結果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを証します。

適用規格：ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015

登録範囲：下記に係わる事業活動
① 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理（選別・破砕）
② 一般廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬
③ 廃ペットボトルの再資源化（破砕によるペットフレーク製造）
④ 空き缶の再資源化（選別・圧縮）
⑤ 廃食用油のリサイクル（アルカリ触媒法によるＢＤＦ製造及びグリセリン洗剤製造）
⑥ 建築物等の解体工事

登録範囲に含まれる事業所：
本社・富山県富山市水橋市田袋２８０
［登録範囲に同じ］
針原営業所，富山県富山市針原中町４９１－１
［廃棄物の選別、保管］

登録番号：E1355　　更新日：2021年 1月21日
初回登録日：2006年 3月 9日　　有効期限：2024年 1月20日
更新決定日：2020年12月10日

日本検査キューエイ株式会社
東京都中央区新富二丁目15番5号
代表取締役社長 川﨑 博史

6．環境に関する規制の順守状況

環境関連法令に違反し、行政処分や指導を受けた事例はありませんでした。

水橋本社については、騒音規制法が適用され、毎年２回、敷地境界における騒音を測定しています。

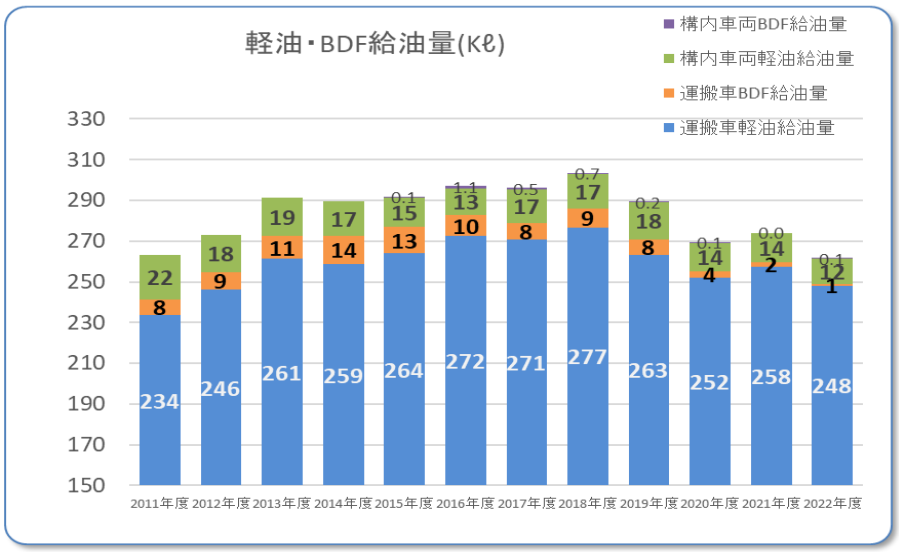
また、規制基準が適用されない排出水についても、pH、SS、BOD、油分について、年２回の測定を実施し、自主基準の順守に努めています。

項　目	自主基準
pH	5.8～8.6
SS	70 mg/ℓ
BOD	20 mg/ℓ
油分（鉱油）:	5 mg/ℓ
（動植物油）:	15 mg/ℓ

7．資源・エネルギーの使用状況

① 燃料消費量

エコドライブの推進、維持管理の徹底による燃費異常車の発生防止、低燃費車の導入やＢＤＦ（バイオディーゼル燃料）専用車の使用により化石燃料消費の抑制に努めています。



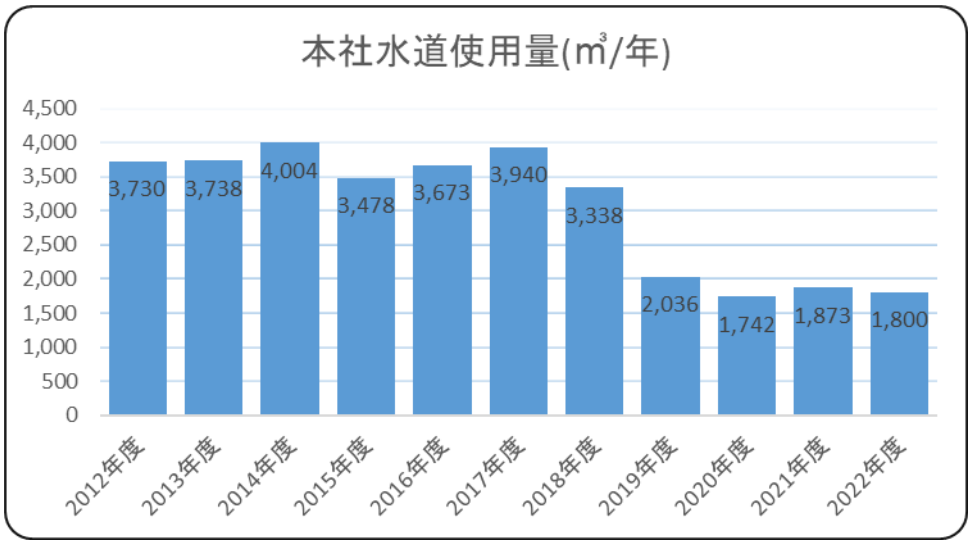
② 電力消費量

株式会社アルト本社の月平均電力消費量は、2022 年度においては 14,186KWh となっています。

2015 年度までは増加傾向でしたが、デマンド監視サービスを導入するなど、照明、空調、生産設備などの使用状況を見直し、2017 年度からは、概ね減少傾向にあります。

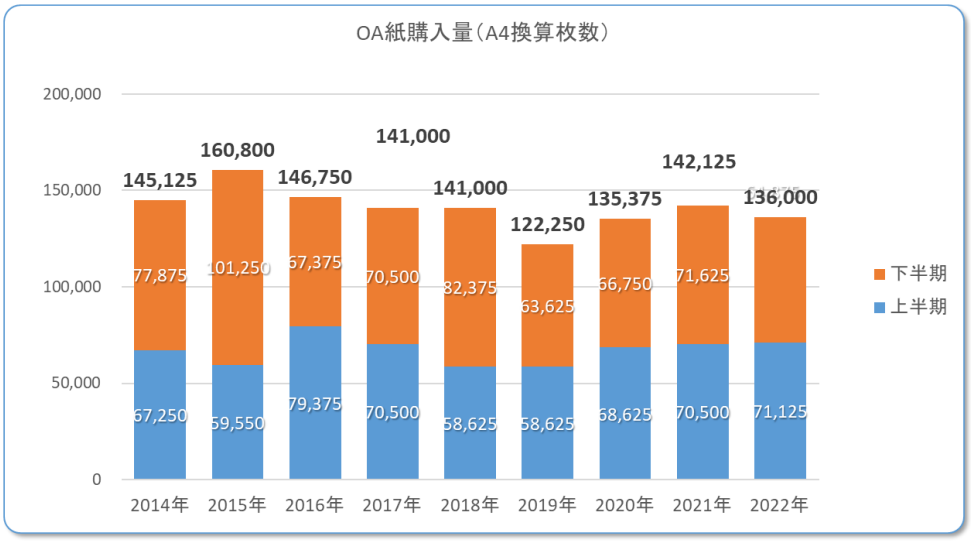
③ 水道使用量

2018 年度より水道使用量を環境目標、環境管理計画に追加し、水道使用方法を見直した結果、2019 年度以降の使用量は従来から見ると半減しました。



④ OA 用紙購入量

2022 年度の OA 用紙購入量は 136,000 枚と、ここ数年では少ない水準でした。従来から裏面利用、両面印刷の活用を進めてきましたが、今年度は新たに環境目標に「データ化、PDF 化」を加え、ペーパーレス化に取り組んでいきます。



8．環境負荷の低減に資する製品等の状況

廃食用油からＢＤＦ（バイオディーゼル燃料）を製造する際に発生する廃グリセリンを利用した洗浄剤 EXALT（エクザルト）を製造・販売しています。

EXALT（エクザルト）は、富山県リサイクル製品の認定を受けています。

富山県リサイクル製品認定
シンボルマーク

Amenity ここち良い　Life 暮らしを　Together 共に

この報告書に関するご意見、お問い合わせは下記までお願いします

株式会社アルト 環境本部
富山市水橋市田袋 280
電話番号　076-478-5388
FAX 番号 076-478-5322
E-mail: recycle@alt-mizuhashi.com